

社会教育の方向性

社会教育の取り組みは、「市民が生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所で学ぶことができる社会の実現」を目的としています。そのための環境整備、人材育成、人とのつながりを育むために「社会教育推進計画」が策定されました。

前の計画が「人づくり」を中心であったのに対し、**新計画は「環境づくり」**を柱に置いています。

【新たな方向性】

- 地域教育協議会と学校支援地域本部事業の事業統合
- 地域協働協議会への事務事業の移行
- 生涯学習施設の再構築
- 文化振興のためのポータルサイトの作成による、情報発信の一元化
- 市内出土遺物の新たな収蔵場所の確保
- 介護予防や健康づくりのための新たなスポーツの検討

この計画では「社会教育によって育まれた人材が、地域協働を推進する原動力となり、活力ある地域社会の実現に貢献することが望まれる」と記載されております。

また、介護予防で謳われている「通いの場」としての性質は、行政目的を意識したものではなく、生活の営みの中で確立されたものです。

「文化・スポーツ・生涯学習」に対する市民意識調査の結果は「重要度・満足度とも低い」となっていますが、活力のある社会の実現には、欠くことのできない取り組みです。

子どもの読書活動

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月施行）を契機に、本市では平成18年3月から計画的な取り組みを行っています。

これまでの取り組みの結果、課題となっているのは・・・

- ①図書館を中心とした関係団体とのネットワーク
- ②学齢期やYA（ヤングアダルト）層への取り組み
- ③障害ある子どもへの支援

それらを踏まえ、第3次となる「こども読書活動推進計画」が策定されました。取り組む方向性や事業は、これまでのものがベースですが、充実していくものや新規のものをご紹介します。

- こども図書館の整備の検討
- 学校図書館の開館時間の拡充
- 学校、保育園所への団体貸し出しを未実施のところの解消
- 移動図書館の巡回場所としての小学校数の増加
- 図書館と連携した学校でのイベント実施
- 子ども食堂での読書普及の支援
- 障害の有無や、母国語に関係なく楽しめる行事の開催

日本一来館者数の多い市立図書館の「安城市図書情報館」は一見に値します。

来館している老若男女の数にも圧倒されますが、学習室を活用する若者の多さやその設備にも感心します。図書館の手作り資料一つとっても、職員（司書）の能力を計り知ることができます。

今夏には新たな中央図書館が開館します。その後には、こども専用図書館も予定されていることから、計画以上の取り組みと成果が生み出せるよう、提言をしてみたいです。

4月の臨時議会

3月に本年度1年間の予算を決めたばかりですが、4月に臨時議会がありました。その目的は「コロナ対策」です。コロナ感染者の急増と、ワクチン接種へ対応するための事業が提案されました。7億1183万円の追加です。

①PCR検査の対象拡大

3億1714万円

保育所・幼稚園・市立小中学校・市立児童デイサービスセンター・留守家庭児童会の従事者に、月2回定期的に検査を実施。

②ワクチン接種会場の増設

3億385万円

毎週土・日曜日に小学校でワクチン接種ができるよう、会場の設営・撤去、医師の確保、会場の運営などの費用。全て一般財源。

これにより、集団接種会場では週4400人の接種が可能になります。

③ワクチン接種場所までの移動補助

3742万円

重度障害者はタクシー券4回分を増配。

高齢者（交通手段の確保が困難な方）はタクシーの初乗り運賃を補助。

④家庭内での感染防止対策

2526万円

陽性者や濃厚接触者が自宅待機となった場合、家庭内感染の防止を防止するため、当事者以外の他の家族を緊急避難的に市内ホテル、市内民間住宅で宿泊していただくための予算。

⑤配食・買い物支援サービスの拡充

2814万円

陽性者や濃厚接触者の増加に伴い、サービスの量と質を改善する。

5月の臨時議会

4月に続き、5月にもコロナ対策の新たな予算が提案されました。予算額は、3億5535万円です。

【これまでの取り組みを拡充するもの】

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| ①ワクチン接種を行う医師等への支援 | ②PCR検査実施の費用 |
| ③入院患者の医療費の助成 | ④入院・自宅待機者への支援 |
| ⑤自宅待機の感染者へ貸与する、パルスオキシメーターを増設 | |
| ⑥感染者の自宅から医療機関への移送費用 | ⑦2週間の学級休業となった世帯への支援 |
| ⑧中小企業・個人事業への一時閉鎖への支援 | |

【新たな取り組み】

- ① 飲食店等のアルバイトなど、コロナで収入減となっている人を、市役所で会計年度任用職員（アルバイト）として雇用・・・18人の採用予定
- ② 住民税非課税世帯の大学生などへの給付金・・・1人に5万円（6月1日から受け付け予定）
- ③ 生理用品を用意することができない市立小中学校の児童生徒に対し、保健室で配布（7月から実施予定）
- ④ 休園等の措置を取った私立幼稚園に、給食費返還のために補助
- ⑤ 小中学校の最上階の普通教室と小学校体育館に気化式冷風機（移動可）の配備
最上階普通教室 201台（1教室1台）
体育館 48台（1校に2台）
- ⑥ 収入が減少した世帯の介護保険料の減免

議会の役員改選

改選から2年の折り返し年になりました。
今期から、議員定数の減少を考慮し、常任委員会数を1つ減らし3つとしました。
加えて、決算と予算の連携を意識する手法として、常任委員会の任期が2年交替制になりました。
今回の議会構成に当り、前半と同じ委員会に所属する議員もいれば、後半は別の委員会を選択した議員もいます。

私は、「健康福祉常任委員会」に所属しました。改選当初より、4年任期の中で2つの委員会を経験する。その内の1つは「健康福祉」と決めていました。その理由は・・・

- ・中核市に移行することで「保健所」が加わったことから、新たな分野の勉強という視点
- ・予算に占める割合が大きく、改革効果につながりやすいこと
- ・少人数の議員で幅広い行政事務に対応する必要があることから、広く浅く知見を蓄える
- ・行政の1つの事業を単体で終結するのではなく、他部署と有機的なつながりを見い出すため

今年度の私の所属委員会と役職は以下の通りです。

健康福祉常任委員会 委員

監査・・・約10年振りです。その間に財政状況が変わりましたが、持続可能性を追求します。

公共施設の在り方調査特別委員会 委員・・・引き続きです。委員として質疑で頑張ります。

大阪府後期高齢者医療広域連合議会 議員・・・健康福祉と関連のある議会です。

議会から選出している各種委員会等

委員会や審議会などにも議員を選出しています。

その委員会等については下記の通りですが、対象となる組織の数は減ってきています。

その経緯は、委員会・審議会で審議した結果や内容を、改めて議会で議決する場合があります、そのようなケースでは、委員の顔ぶれが違っても会派主義をとっていることから、その審議の内容に大きな違いは無いこととなります。このような二重の審議をすることの是非が問われた時代がありました。

結果、本市議会では、法令で参画が求められているもの、委員会の成り立ちの性質から参画すべきものを除いて、議員が所属することはなくしました。

【正議長が所属することにルール化している委員会等】

- ・名誉市民等選定諮問委員会
- ・片町線複線化促進期成同盟会
- ・寝屋川市・すさみ町都市提携連絡協議会
- ・すさみ町都市交流推進基金審査委員会
- ・社会福祉審議会
- ・淀川左岸治水促進期成同盟会（議長のみ）

【正副議長を除く議員が参画する委員会等】

- ・有功者選定諮問委員会
- ・男女共同参画審議会
- ・国民健康保険運営協議会
- ・民生委員推薦会
- ・都市計画審議会
- ・交通安全都市推進委員会
- ・空き家等・老朽危険建築物等対策協議会

ねやがわのデータ

新築の住宅戸数

年度	総数	持ち家	貸家	分譲
平成10年	2423	414	749	1260
平成15年	1089	265	175	649
平成20年	1660	213	220	826
平成25年	963	229	156	578
平成30年	962	237	376	342

時代背景により、住宅の利用形態による新規着工数に変化があります。

また、住宅の総戸数も年々増加傾向にあり、この10年間で約3000棟増加しています。

本市の住宅問題としては、密集住宅と空き家・老朽危険住宅が代表的です。

そして、今、地球温暖化対策としてゼロ・エネルギー・ハウス（ZNH）への転換を促すための誘導策が求められています。